

執筆者紹介

戒能 通弘（かいのう みちひろ） 序論, 第1章（共著）, 第2章～第6章, 第8章, あとがき

1970年生まれ。同志社大学法学部教授。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス大学院法学修士（LL.M.）課程修了。同志社大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法学）。

主な業績：

『世界の立法者、ベンサム——功利主義法思想の再生』（日本評論社、2007年）、『近代英米法思想の展開——ホブズ＝クック論争からリアリズム法学まで』（ミネルヴァ書房、2013年）、『ジェレミー・ベンサムの挑戦』（共編著、ナカニシヤ出版、2015年）、『法の支配のヒストリー』（編著、ナカニシヤ出版、2018年）、『功利とデモクラシー——ジェレミー・ベンサムの政治思想』（共訳書、慶應義塾大学出版会、2020年）、『ベンサム「公開性」の法哲学』（単訳書、慶應義塾大学出版会、2023年）、『法思想史を読み解く——古典／現代からの接近〔第2版〕』（共著、法律文化社、2024年）、『法の基礎を読み解く——外国と日本の比較を通じて』（共著、法律文化社、2025年刊行予定）ほか。

竹村 和也（たけむら かずや） 第1章（共著）、第7章

1963年生まれ。同志社大学法学部嘱託講師。エディンバラ大学大学院法学修士（LL.M.）課程修了。同志社大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得。

主な業績：

「スコットランド啓蒙思想の一側面——ケイムズ卿の歴史法学」（『同志社法学』第48巻2号、1996年）、「グローバルな正義論」（『法の理論』第23号、成文堂、2004年）、「人間の安全保障と人権」（『天理大学人権問題研究室紀要』第10号、2007年）、『入門法学——現代社会の羅針盤〔第5版〕』（共編著、晃洋書房、2018年）ほか。